

第 2 次飯能市教育大綱骨子（案）について

1 教育を取り巻く社会動向と課題

第 1 次飯能市教育大綱を引き継ぎ、教育を取り巻く社会動向と課題を以下のとおり整理した。

○ 行政と教育の共有課題

- (1) 子どもの学力体力の向上、規範意識・社会性の育成
- (2) 家庭・地域の教育力の向上
- (3) 経済力の差などによる教育機会の不均等
- (4) 少子化、人口減少による教育及び学校規模等への影響
- (5) 高度情報化・グローバル社会の進展
- (6) 安心・安全な教育環境の確保
- (7) 子ども、若者、女性の夢・未来の実現とまちの活性化
- (8) 子どもの頃からの生活習慣病の予防・健康づくり

課題解決への取組の切り口

挑 戦

創 造

協 働

グローバル

S D G s

森林環境教育

G I G A スクール構想

「学びの改革」

- 主体的・対話的で深い学び
- 協同的・探究的な学び

2 飯能市教育大綱骨子（案）

挑戦・創造

自ら人生を切り拓く、チャレンジ精神と豊かな創造性を持つ人材の育成

人生 100 年時代の到来が目前となり、超スマート社会（Society5.0）の実現に向けた人工知能（AI）、ビッグデータの活用など、技術革新が急速に進み、社会は大きく転換しようとしています。

私たちは、加速度的に変化する予測不可能な社会においても、自ら人生を切り拓いていけるように、様々な課題に主体的に向き合うチャレンジ精神と豊かな創造性を持った人材を育成します。

グローバル

多様な価値観を持つ人々を理解する広い視野と相手を尊重する心を持つ人材の育成

グローバル化が進展する世界で、多様な文化や価値観を持った人々と協力していくために、普段から自分で考える習慣を持つとともに、相手のことを理解し尊重することが大切です。

私たちは、自分の価値観を大切にし、考えや意思を表現できる力を持った人材を育成し、また、多様な価値観を持つ地域・文化・人々との触れ合いを大切にし、異なる考えを理解する広い視野と相手を尊重する心を持った人材を育成します。

森林環境教育・SDGs

森林文化の精神を継承し、持続可能な社会を考える人材の育成

私たちは、緑と清流に囲まれた豊かな自然の中で、森林が持つ多くの恵みを受けて生活しています。一方で、今ある森林は人工的に作られたものも多く、人びとの管理が行き届かなくなった森林は多くの課題を抱えています。

私たちは、森林を教育の場面に積極的に活用することで、森林が持つ多くの機能や課題を正しく理解し、自然と調和した暮らしとは何かについて自分自身で考えられるようになるなど、森林環境教育を通じて持続可能な社会の在り方を考えられる人材を育成します。

協働

学校・地域が連携し、「オール飯能」で子どもたちの成長を支える体制の実現

子どもたちを取り巻く環境や学校が抱える問題・課題が複雑化・多様化している中、これからの学校教育は、子どもたち・学校教員・保護者・地域住民が情報を共有し意見を出し合い、互いに学び合い理解し合いながら解決を図っていくことが必要です。

私たちは、幅広い地域住民や企業・団体等の参画により、学校と地域が連携・協働する学び合いによるまちづくり、地域人材育成、郷土学習、放課後等における学習・体験活動などを行い、未来を担う人材を地域全体で育成します。

GIGA スクール構想

子どもたち一人ひとりに個別最適化され、創造性を育む教育の実現

超スマート社会（Society5.0）に生きる子どもたちにとって、ICT 端末は鉛筆やノートと並ぶマストアイテムです。今や、仕事でも家庭でも、社会のあらゆる場所で ICT の活用が日常のものとなっています。

教育においても、これまでの実践の蓄積の上に、ICT をベストミックスした教育が令和時代の「スタンダード」であり、それが、子どもたちの可能性を広げ、これからの社会を生き抜く力を育むために必須となります。

私たちは、未来を担う子どもたちが、これからの時代に必要とされる様々な力を身に着けられるよう、主体的で対話的な深い学びや協同的な学びを推進する中で GIGA スクール構想を最大限に活用し、子どもたち一人ひとりの能力や適性に応じて創造性を育む教育を実現します。

【用語説明】

- ※1 Society5.0 は、サイバー空間（仮想空間）とフィジカル空間（現実空間）を高度に融合させたシステムにより、経済発展と社会的課題の解決を両立する、人間中心の社会。狩猟社会、農耕社会、工業社会、情報社会に続く新たな社会を指す。
- ※2 人工知能（AI）は、人間にしかできなかったような高度に知的な作業や判断をコンピュータを中心とする人工的なシステムにより行えるようにしたもの。
- ※3 ビッグデータは、GPS（全地球測位システム）から発生する位置情報、時々刻々と生成されるセンサーデータなど、ボリュームが膨大であるとともに、構造が複雑化することで、従来の技術では管理や処理が困難なデータ群。
- ※4 SDGs（持続可能な開発目標）は、「誰一人取り残さない」持続可能でよりよい社会の実現を目指す世界共通の目標。2015年の国連サミットで合意した「持続可能な開発のための2030アジェンダ」の中で掲げられました。2030年を達成年限とし、17のゴールと169のターゲットで構成。